

令和 5 年 6 月 7 日

令和 4 年度研究開発報告

住所 熊本県熊本市中央区水前寺 6 丁目 1 8 番 1 号
管理機関名 熊本県教育委員会
代表者名 白石 伸一

令和 4 年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業に係る研究開発実施内容を、下記のとおり報告します。

記

1 事業特例校名・類型

学校名 熊本県立球磨中央高等学校
学校長名 本山 幸広
類型 プロフェッショナル型

2 令和 4 年度研究開発実施概要

「球磨地域学」を全学科・全学年で実施し、自治体の課題や地域資源の魅力を学習する。また、「商業」の学びにおいては、「球磨地域学」の学びを基礎とし、具体的なビジネスにつなげるブランディングについて、課題解決型の学習モデル開発を行う。また、カリキュラム開発や教材開発に加え、地域と協働を行う際の評価方法についての工夫や改善に関する研究も併せて行っていく。なお、カリキュラム開発専門家や地域協働学習実施支援員の活用の効果的な活用についての研究を行うことで、本研究を成果普及のためのモデルとなるような研究活動をしていく。

3 教育課程の特例の活用 (□で囲むこと)

ア 学校設定教科・科目を開設している

イ 教育課程の特例を活用している

4 コンソーシアムについて

①コンソーシアムの構成団体

機関名	機関の代表者名
Hit-Biz (人吉しごとサポートセンター)	人吉しごとサポートセンター長
人吉球磨観光地域づくり協議会	会長・松岡隼人 (人吉市長)
人吉球磨地域 10 自治体	各自治体の首長
地元企業	地元企業経営者
熊本県教育委員会	教育長・白石 伸一

(別紙様式 5)

②活動日程・活動内容

活動日程	活動内容
令和4年7月22日	第31回熊本県高等学校生徒商業研究発表大会 人吉球磨地域の復興支援に関する活動を発表 熊本県大会：優勝
令和4年8月22日	第21回九州地区高等学校生徒商業研究発表大会 人吉球磨地域の復興支援に関する活動を発表 九州大会：準優勝
令和4年10月22日 23日	球磨中央百貨店 ・地元企業の商品販売 ・豪雨災害被災店舗の商品販売、復興支援
令和4年11月16日 17日	第30回全国高等学校生徒商業研究発表大会 人吉球磨地域の復興支援に関する活動を発表 全国大会：優良賞
令和4年12月4日	令和4年度（2022年度）KSH（熊本県スーパーハイスクール）生徒研究発表会 ・豪雨災害被災店舗の商品販売、復興支援の発表 ・他校の研究発表の閲覧
令和5年1月～	山崎製パン株式会社と共同開発した「ランチパック 熊本県産球磨栗入りクリーム&マロンホイップ」、「マロンムースタルト」の販売

5 研究開発の実績

(1) 実施日程

実施項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合的な探究の時間「球磨地域学」における地域資源の探究学習						2回	3回	2回		1回	2回	1回
科目「課題研究」における地域資源の探究学習			4回		4回	4回	5回	3回	2回	2回		
学校行事「球磨中央百貨店」における被災店舗の復興支援						8回	8回					
山崎製パンとの商品開発・販売						1回	1回	1回	1回	2回		

(2) 実績の説明

① 総合的な探究の時間「球磨地域学」における地域資源の探究学習

各自治体で地域活性化等を担当している方を招聘して、地域資源の学習や地域活性化に関するアイデア創出を行った。

(別紙様式 5)

- ・「百太郎溝においてよ！世界かんがい施設遺産登録～百太郎溝～」
百太郎溝土地改良区 椎葉 直美様
- ・「錦町の地域活性化策について」
にしきひみつ基地ミュージアム副館長 平本 真子様
- ・「～スカイビレッジ～ 水上村の地域活性化策について」
水上村役場 産業振興課 江崎 邦臣様
- ・「五木村の地域活性化について」
株式会社 日添 地域おこし協力隊 土屋 望生様
- ・「湯前町の地域活性化策について」
湯前町役場 企画観光課 田代 翔也
- ・「やまえ栗のブランド化について」
山江村役場 企画調整課 中村 祐樹様
- ・「あさぎり町の地域活性化策の取り組みについて」
あさぎり町役場 企画財政課 樺木 友美様
- ・「SDG s を軸とした人吉市の災害復興について」
SDG s 地方創生公認ファシリテーター 北 貴之様
- ・「取材から見えた人吉球磨の創造的復興について」
人吉・球磨月刊情報誌 どうぎゃん編集部代表 有地 永遠子様

② 科目「課題研究」における地域資源の探究学習

紙の端材を活用した「パソコンの手前に置いて使うノート」 (環境に配慮した商品)

SDGs の目標 12「つくる責任、つかう責任」と目標 15「森の豊かさを守ろう」の視点で、東紙店と協働して、紙の端材を使った「パソコンの手前に置いて使うノート」という商品を企画、販売した。GIGA スクール事業により、生徒用机の上に、パソコンを置くことになり、従来のサイズのノートが置きにくくなった。私たちが企画したノートは、パソコンの手前に置くことができ、生徒用機の限られたスペースでも、スムーズにノートをとることができる。多くの方に購入していただき、東紙店だけではなく、紙問屋の協力も得て、熊本県内全体の端材についても、廃棄させずに有効利用することができた。



規格外苺を活用した「けずり苺のアイス・スムージー」 (環境に配慮した商品)

SDGs の目標 12「つくる責任、つかう責任」の視点で、苺農家や、やまえ堂と協働して、規格外の苺を使った「けずり苺のアイス・スムージー」という商品を企画、販売した。商品に使用したラベルやカップスリーブ等の紙素材は、東紙店の端材を利用した。錦町チャレンジショップというイベントを開催し、販売したところ、準備した 100 個が 2 時間で完売し、お客様からも好評を得た。



障がい者支援施設とコラボしたチョコレート商品「ChocoCha」 (人権に配慮した商品)

SDGsの目標8「働きがいも、経済成長も」と目標10「人や国の不平等をなくそう」という視点で、障がい者支援施設「まどか工房」と協働して、人吉球磨産のお茶を使ったチョコレート「ChocoCha」という商品を企画、販売した。熊本で有数の大型商業施設「サクラマチ熊本」でも販売され、「超濃厚お茶チョコレート」として、お客様から好評を得た。



復興のシンボル、人吉球磨産の栗を使った「ランチパック」 (地域の持続可能性に貢献する商品)

豪雨災害から約2年が経った現在、「復興支援」と称した活動も、メディアや地域外からは注目されなくなり、「風化」が進んでいる。しかし、人吉市中心部は「更地のまま」であり、街としての将来が不安である。私たちは災害を風化させないため、SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」の視点で、「復興のシンボル」として山崎製パン株式会社と協働して、特産品の栗を使ったランチパックを企画、販売した。九州・山口地域のスーパーやコンビニ、東京の一部店舗等で約15万個が販売され、1個につき1円が被災地域に寄付された。



③ 学校行事「球磨中央百貨店」における被災店舗の復興支援

令和2年7月豪雨災害で被災した店舗の復興支援を行うため、被災状況の紹介、商品販売を行った。

百貨店開催までに、様々な準備作業を行った。まず、からし蓮根あらけに出向き、実際の被災状況を見学し、被災当時の様子を伺った。また、店の歴史、復興に向けての思いも伺った。

その後、仮店舗で営業されている「からし蓮根あらけ」の復興支援のため、百貨店でからし蓮根を販売した。これからも人吉球磨地域の復興や地域活性化のため、学習内容を活かしていきたい。



(3) 研究開発の実施体制について

※高校と地域を繋ぐコーディネーターを配置する場合には、コーディネーターの配置状況及び活動内容について記載してください。

① 外部機関との協働体制

機関名	地域との協働による教育内容
Hit-Biz (人吉しごとサポートセンター)	地域人材、地域資源、活用方法等の助言
人吉球磨観光地域づくり協議会	人吉球磨地域全体の観光施策等の助言
地元自治体 (人吉球磨地域 10 自治体)	自治体の施策や地域資源の紹介
地元企業	地元資源を活用した商品販売

(別紙様式 5)

② 校内の組織

内容	担当
研究内容、研究体制の統括	校長、教頭
研究内容、スケジュールの企画・管理	学科主任等
総合的な探究の時間「球磨地域学」の運営	各学年部
地域経済活性化策提案「調査研究」の企画・運営	調査研究担当職員
学校設定科目「グローバル・スタディーズ」の企画・運営	地歴公民科
英語科専門科目「異文化理解」の企画・運営	英語科
世界とつながることのできる人材育成	
地元企業へのインターンシップの企画・運営	2 学年、進路指導部
I C T 機器の活用方法提案・管理	担当職員

(4) 次年度以降の課題及び改善点

インターネットの情報だけではなく、出来るだけフィールドワーク等、学校外での活動を多く取り入れることが理想ではあるが、コロナ禍による移動、面会の制限、または通常の学校行事や時間割とのスケジュール調整が課題である。

しかし、ZOOM等によるWeb会議が普及してきたため、距離的に離れた人や複数の人々と意見交換やオンラインツアー等が可能になったため、このようなインターネットのツールも活用しながら、研究開発を進めていきたい。また、アフターコロナに向け、対面でのイベント等も企画していきたい。

【担当者】

担当課	高校教育課	TEL	096-333-2717
氏名	鋤田 祐介	FAX	096-384-1563
職名	指導主事	e-mail	kuwada-y@pref.kumamoto.lg.jp